

私たちは、いま議会改革に取り組んでいます



◀小石川福祉作業所

老朽化に伴い、躯体をそのままにした大規模施設改修を行った。バリアフリー対策では点字サイン、安全対策では防犯カメラが設置された。障害の特性に配慮し、部屋の配置等を変更せず、明るい色を基調とし、利用者等から「明るくなった」「広く感じられる」等の声が聞かれた。今後も利用者や地域に愛される福祉活動の拠点となることを望む。

▶にじのいるか保育園千石第二

近隣への配慮、安全対策が施された施設では、小1ギャップを考えた体験型プログラムも実施され、保護者に安心感を与えている。今後、読書スペースの本の貸出しも検討されており、本が園での生活の延長線に家庭をつなぐ役割を果たすことを期待する。また、保育体制強化事業等を活用することで、人員体制をより充実させることを望む。



▲ふる里学舎本郷

障害者の就労継続支援事業所である「ふる里学舎本郷」では、封入や折込みといった受注作業とパンの製造を主な活動内容としているほか、文京区の子ども宅食事業の食材の仕分け作業も請け負っている。仕事以外の支援の充実を図っているとともに地域コミュニティと密接なコミュニケーションをとることで良好な関係を築く運営努力の継続も確認できた。

9月定例議会では、決算審査特別委員会を設置し、平成29年度一般会計を始めとする4決算報告を認定したほか、条例改正、平成30年度一般会計補正予算など区長提出の合計8議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

また、議員提出の意見書2件を可決しました。

なお、議案に対する議決結果と各会派の賛否を2面に掲載しています。

## 平成29年度決算を認定



▲ちいさいおうち小石川

一般社団法人まちのLDKが運営する小規模保育施設である。職員体制が充実し、きめ細やかな保育を行っている。入退園はICTで管理し、災害対策では、園児の防災頭巾等が設置されている。オムツの持ち帰りも廃止され、保護者の負担軽減につながっている。3歳児以降の転園先の確保については、今後も関係機関と連携し、区として取り組んでいくことを要望する。

1班

### 決算審査 特別委員会視察

10月11日

2班

決算審査特別委員会委員は、審査の充実を図るため、平成29年度事業のうち6事業を選定し、3班編成で現場視察を実施しました。

視察報告(抜粋)は、次のとおりです。

※なお、決算審査の概要と各会派等意見(抜粋)は、2面に掲載しています。



▶音羽えびすの郷

施設内に歯科部門を併設するなど、口腔ケアを重視しており、その大切さを感じた。運営目標の一つに在宅復帰があるが、現実的には在宅と施設に入ることを繰り返す循環利用を想定してレクリエーションの充実を掲げ、日常の楽しみが広がる支援をしている。

また、介護レベルに合わせてたりハビリティを行っており、そのための施設の充実も確認された。



▶江戸川公園内公衆便所・江戸川公園便所

近隣区民の要望を受け、トイレの位置を変更し、中央にイベント広場を設置した。マンホール活用の防災トイレは、発電機を使用することにより、神田川の水を水源として活用できるよう工夫し、障害者用トイレも備えた画期的なものであり、公園全体のバリアフリー化は水飲み場にも配慮している。これらの改修費用には、国や都の各種補助金が活用されている。



7月臨時議会  
議会期間 7月18日の1日間  
\*副議長の選挙を行い、新たに田中和子議員(市民の広場)が選任されました。

▽区長提出案件  
条例……………2件(可決)  
事件……………2件(可決)  
予算……………4件(可決、表1)  
決算……………4件(認定、表2)

▽議員提出案件  
意見書……………2件(可決)

審議した案件

区長提出の追加1議案の審査を所管委員会に付託し、委員会の決定どおり可決しました。

\*区長提出の4決算報告を、決算審査特別委員会の決定どおり認定しました。

\*区長提出の追加1議案の審査を所管委員会に付託し、委員会の決定どおり可決しました。

区長提出の4決算報告を、決算審査特別委員会の決定どおり認定しました。

\*区長提出の追加1議案の審査を所管委員会に付託し、委員会の決定どおり可決しました。

\*区長提出の4決算報告を、決算審査特別委員会で4決算報告を審査しました。

…(下記表2及び2面掲載)

本会議第6日(10月15日)

\*議員提出の意見書2件を可決しました。

\*特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。

…(4面掲載)

本会議第5日(9月28日)

\*区長提出の7議案を、付託委員会の決定どおり可決しました。

10月1日～11日

\*決算審査特別委員会で4決算報告を審査しました。

…(下記表2及び2面掲載)

本会議第6日(10月15日)

\*議員提出の意見書2件を可決しました。

9月11日～26日

\*特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。

…(4面掲載)

本会議第5日(9月28日)

\*区長提出の7議案を、付託委員会の決定どおり可決しました。

10月1日～11日

\*決算審査特別委員会で4決算報告を審査しました。

…(下記表2及び2面掲載)

本会議第6日(10月15日)

\*議員提出の意見書2件を可決しました。

9月11日～26日

\*特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。

…(4面掲載)

本会議第5日(9月28日)

\*区長提出の7議案を、付託委員会の決定どおり可決しました。

10月1日～11日

\*決算審査特別委員会で4決算報告を審査しました。

…(下記表2及び2面掲載)

本会議第6日(10月15日)

\*議員提出の意見書2件を可決しました。

9月11日～26日

\*特別委員会、常任委員会等が開催され、議案等を審査しました。

…(4面掲載)

本会議第5日(9月28日)

\*区長提出の7議案を、付託委員会の決定どおり可決しました。

10月1日～11日

\*決算審査特別委員会で4決算報告を審査しました。

…(下記表2及び2面掲載)

本会議第6日(10月15日)

\*議員提出の意見書2件を可決しました。

### 9月定例議会

審議した主な案件(要旨)

区長提出案件

◎平成30年度文京区一般会計補正予算  
大河ドラマを題材とした「いだてんプロジェクト」、待機児童対策のための保育所整備事業、ブロック塀等の安全対策に要する経費などの予算を追加するものです。

◎文京区議会議員及び文京区長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例  
公職選挙法の一部改正に伴い、区議会議員の選挙におけるビラの作成の公費負担に係る規定を整備するものです。

※全ての議案は、2面に掲載しています。

継続となったもの

◇同性カップルのパートナーシップを公的に認証する制度の導入に関する請願  
(総務区民)

○特別養護老人ホーム等高齢者施設及び住まいの確保に関する請願  
(建設)

1項～3項・5項(厚生)

○区民主体のまちづくりを初期段階から支援する仕組みに関する請願  
(建設)

▽請願……………8件  
「8件の内訳は、今定例議会付託分7件、継続審査分1件」

請願

◇は継続審査分(は付託委員会不採択となったもの)

○場外馬券売り場(後楽園オフト)の撤去を求める請願  
(総務区民)

○消費税率10%への増税中止、減税を求める請願  
(総務区民)

○特別養護老人ホーム等高齢者施設及び住まいの確保に関する請願 4項(厚生)

○「後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する」請願 (厚生)

○建築紛争の予防と調整に関する請願 (建設)

○まちづくり条例に関する研究会創設を求める請願  
(建設)

▽請願……………8件  
「8件の内訳は、今定例議会付託分7件、継続審査分1件」

請願

◇は継続審査分(は付託委員会不採択となったもの)

○場外馬券売り場(後楽園オフト)の撤去を求める請願  
(総務区民)

○消費税率10%への増税中止、減税を求める請願  
(総務区民)

○特別養護老人ホーム等高齢者施設及び住まいの確保に関する請願 4項(厚生)

○「後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する」請願 (厚生)

○建築紛争の予防と調整に関する請願 (建設)

○まちづくり条例に関する研究会創設を求める請願  
(建設)

▽請願……………8件  
「8件の内訳は、今定例議会付託分7件、継続審査分1件」

請願

◇は継続審査分(は付託委員会不採択となったもの)

○場外馬券売り場(後楽園オフト)の撤去を求める請願  
(総務区民)

○消費税率10%への増税中止、減税を求める請願  
(総務区民)

○特別養護老人ホーム等高齢者施設及び住まいの確保に関する請願 4項(厚生)

○「後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する」請願 (厚生)

○建築紛争の予防と調整に関する請願 (建設)

○まちづくり条例に関する研究会創設を求める請願  
(建設)

▽請願……………8件  
「8件の内訳は、今定例議会付託分7件、継続審査分1件」

請願

◇は継続審査分(は付託委員会不採択となったもの)

○場外馬券売り場(後楽園オフト)の撤去を求める請願  
(総務区民)

○消費税率10%への増税中止、減税を求める請願  
(総務区民)

○特別養護老人ホーム等高齢者施設及び住まいの確保に関する請願 4項(厚生)

○「後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する」請願 (厚生)

○建築紛争の予防と調整に関する請願 (建設)

○まちづくり条例に関する研究会創設を求める請願  
(建設)

【表2】平成29年度決算 (単位:円)

会計別	歳入総額	歳出総額
一般会計	93,369,594,279	87,987,348,254
国民健康保険特別会計	23,279,398,606	22,024,680,687
介護保険特別会計	15,177,807,213	14,877,370,956
後期高齢者医療特別会計	4,910,826,012	4,786,302,626
合計	136,737,626,110	129,675,702,523

【表1】平成30年度補正予算 (単位:千円)

会計別	補正前の額	補正額	予算総額
一般会計(第1回)	96,647,000	5,029,862	101,676,862
国民健康保険特別会計(第1回)	19,382,000	1,257,549	20,639,549
介護保険特別会計(第1回)	15,697,000	334,759	16,031,759
後期高齢者医療特別会計(第1回)	5,087,000	126,454	5,213,454
合計	136,813,000	6,748,624	143,561,624

可決した意見書 2件

◎児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書

◎学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書

可決した意見書 2件

◎児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書

◎学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書

可決した意見書 2件

◎児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書

◎学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書

決算審査特別委員会報告(要旨)

9月4日の本会議で、19人の委員をもって設置した決算審査特別委員会では、委員長に若井宣一委員(公明)、副委員長に上田ゆきこ委員(未来)を選出し、10月1日から11日までの7日間にわたり決算報告を審査しました。

○総括質疑

問 基金に係る今後の歳入と歳出の見通しについて伺う。
答 歳出については、平成29年度普通会計決算で扶助費が16年連続して増加しており、今後も、子育て支援施策、高齢者施策などに係る経費の増加や施設に係る改築・改修が続いていくことが見込まれる。
一方、特別区税やその他の一般財源は、社会経済の動向の影響を受けやすい上に、不合理な税制改正等の更なる影響が懸念され、予断を許さない状況が続いている。また、財政調整基金の繰入れで補填する単年度収支不足額も増加すると推計している。
このような状況を踏まえ、適切な予算編成と適切な執行により生じた財源を基金に積み立て、必要な施策へ有効に活用していく。

○一般会計―歳入意見・要望

①特別区民税について、スマートフォンやタブレット端末の普及に伴う納付環境の変化など、新しい視点での徴収手段について、徴収に掛かるコストの費用対効果と合わせて、相対的に検討していくこと。

②国や都から交付される補助金については、内容を精査し、庁内連携を図りながら積極的に活用することで、課題解決に向けた更なる施策の展開へとつなげていくこと。

○一般会計―歳出意見・要望

①新公会計制度については、当制度の導入によって得られ

決算に対する各会派の意見(要旨)

自民党

基本構想実施計画を踏まえ、区政の課題に的確に対応した効率的な予算執行が行われたものと判断する。区民の高い納税意識に支えられていることに感謝しつつ、過去最高となった取納率を維持し、特別区財政調整交付金や国庫補助金等の確保にも努め、安定的な財政運営が可能となるように意を用いること。多様化する区民ニーズに適切に対応するために、職員の一人一人が区民目線に立ち、品質志向の区政運営の更なる推進のために努力すること。今後も不断の行財政改革を推進することを付して、平成29年度4会計決算を認定する。

未来

子どもへの貧困対策拡充を評価する。区立こども園の0歳保育実施、八中特別支援学級の平成31年度開設と青柳保育園の医療的ケア児対応への設計変更を強く求める。私立園の保育の質の確保、教育関連保護者負担の軽減、B1ぐる路線拡大、介護・福祉人材確保、乳がん検診無料化、介護離職防止に向け相談支援の拡充、同性パートナーシップ制度導入、バリアフリーの優良表彰制度創設、災害時の電源確保等を求め、一般会計他3特別会計を認定する。

日本共産党

9条改憲をうらう現政権の下、区に地方自治破壊に立ち向かう姿勢はない。史上最高679億円の基金は区民負担増の結果、23区最高の幼稚園・育成室保育料等6億2千万円値上げは許されない。公・民地活用で千71人の待機児解消、特別教室改修や子どもの貧困、高齢者・障害者、防災強化を。戸籍156人、図書館219人退職は異

市民の広場

求めてきた民泊条例制定、空家等対策計画策定は評価する。待機児童解消、高齢者・障害者等の住宅確保、施設使用料の見直し、若者支援を加速すること。一般、介護保険会計は認定し、国保、後期高齢者医療会計は認定しない。

まちづくり

昨年度の決算は、民営化が先行し「みんなが主役の『文の京』」にそぐわない。民間主導で運動施設の高齢者料金が高けり高い、民設の公共施設が周辺環境と合わない等。また、避難所は太陽光発電で補完を。4会計を不認定。

常であり、委託・指定管理は直営に戻せ。一般、国保、介護、後期高齢者医療は認定せず。

公明党

29年度予算は第3期の基本構想実施計画の初年度として、区政の課題に的確な対応をしたことは高く評価した。今後も行政サービスを安定的に提供できるように強固な財政基盤を確立するとともに、更に区民サービスの向上に努められることを要望する。なお、我が会派の所属議員が掲げた意見・要望については、今後、実現を図られるよう強く望む。公明党文京区議団は29年度の4会計決算を認定する。

永久の会

平成29年度は、第3期基本構想実施計画の初年度として、様々な課題に対する事業が推進されました。引き続き事業の推進を図ると共に、今後も更なる内部努力の徹底と、多様な区民ニーズを的確に捉え、区民福祉の向上に努められることを要望し、平成29年度4会計全ての歳入・歳出決算を認定致します。

平成30年9月定例議会 議案に対する議決結果と各会派の賛否

○賛成 ×反対 ( )は、議長を除く出席議員数

Table with columns for committee (付託委員会), case number (議案番号), title (件名), and voting results for various parties (自, 未, 共, 公, 永, 市, ま) and a final result column (結果).

会派の略称：自…自由民主党文京区議団、未…ふんきょう未来、共…日本共産党文京区議会議員団、公…公明党文京区議団、永…文京永久の会、市…市民の広場・文京、ま…みんなの・まちづくり

要請書

臨界前核実験の中止を求める要請書(要旨)
文京区議会は、貴国が昨年12月13日に28回目の臨界前核実験を実施したとの報道に接した。このことは、国際社会における平和への願いを無視するとともに、核全廃への取組を踏みこむものであり、強い憤りを禁じえない。ここに貴国に対して厳重に抗議するとともに、臨界前核実験の中止を重ねて強く要請する。
2018年10月17日
アメリカ合衆国大統領宛て

平成30年度 委員会視察

建設委員会 (7月11日・12日)

○広島県福山市

「自転車利用促進プランの取組」に関する調査・研究

○熊本県熊本市

「熊本地震における道路・橋梁被害と復旧状況」に関する調査・研究



▲「福山市自転車レーン」視察の様子

※委員会視察報告の詳細は、区議会ホームページで公開しています。

幹事長、副幹事長、委員会等の構成に変更がありました

●幹事長の交代 会派名：文京永久の会 (平成30年7月18日付け)

Table showing the change of the Chairman (幹事長) from Takanashi Takemasa to Yamamoto Ichiro.

●幹事長及び副幹事長の交代 会派名：市民の広場・文京 (平成30年7月18日付け)

Table showing the change of the Chairman (幹事長) and Deputy Chairman (副幹事長) from Tanaka Kazuko to Asahida Takahiro.

●委員会構成の変更 (平成30年9月4日付け)

Table showing the changes in the composition of various committees, including the Executive Committee (議会運営委員会), Information Committee (議会広報小委員会), and Special Committee (特別委員会).

右記のQRコードから各ホームページがご覧いただけます。

●本会議代表質問インターネット中継



●議案の審議結果



●請願の審議結果



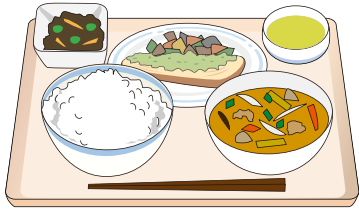
代表質問 (要旨)



永久の会 西村 修

牛乳からお茶にかわる 学校給食を

問 お茶の葉には、豊富なたミンが含まれており、抗がん作用がある。和食の日だけではなく、牛乳からお茶にかわる学校給食を夢見てならないが、見解を伺う。



教育長 牛乳は、効率よくカルシウムを吸収できる食材であり、成長期の児童・生徒に不足しがちなカルシウムの供給源として、今後とも牛乳の提供は継続していく。

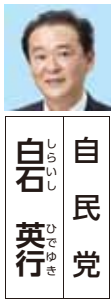
高齢者のスポーツジム 無料化で医療費削減を

問 アメリカでは、保険会社からスポーツジムの会費が全額支払われる仕組みがある。区でも、高齢者を対象にスポーツジムの無料会員登録を行い、高齢者が体を鍛え、健康寿命を延ばすことができれば、国民健康保険の財政健全化にもつながると考えるが見解を伺う。

豊島岡御陵東側塀の改修

問 豊島岡御陵東側の未改修の塀について、通学路沿いでもあることから、安全性の確保が必要と思われるが、区に対応について伺う。

区長 当該箇所については、現地において状況を再確認の上、必要に応じて所有者に安全対策を講じるよう、指導していく。



自民党 白石 英行

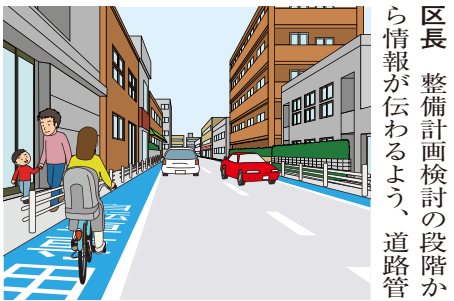
共助が発揮できる体制を

問 通学区域と町会が異なる避難所で、親が子と別れて避難所運営をする実態を改善していく必要性を感じるが、いかがか。

区長 指定避難所を今後も家族全員が理解できるよう、引き続き丁寧に周知していく。

自転車専用レーンの新設について

問 地域に情報が事前に伝わり、地域課題が検討される体制を望む。また、自転車利用者への安全運転啓発と自動車利用者への注意喚起の実施について、対応を伺う。

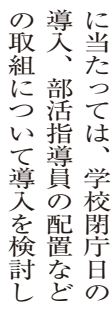


質問の掲載は、本会議での質問会派順です。

補聴器購入助成制度の実施を要望したが、その後の研究状況について伺う。

学校における働き方改革

問 職務の明確化と業務見直しやICT活用など新たな取組が計画されていくが、進捗状況を伺う。



自民党 海老澤 敬子

体育館の猛暑対策について

問 学校の体育館にエアコンを追加設置する事は有り難いが、今のエアコンでは快適な環境を作り出す事は難しい。新たなエアコンの研究や天井の改修など、他の方法も検討する必要があるのではないかと教育長 機器の増設以外の対策として、屋根の断熱効果が少ない体育館について、遮熱効果の高い塗装工事等による改修を行うなど対策を講じていく。機器については、賃貸借契約更新時に性能等を比較検討し、より適切な機器を導入していく。

高齢者への補聴器の購入助成制度について

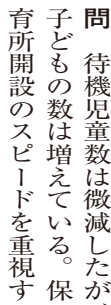
問 高齢者の難聴をきっかけとした引きこもりによりコミュニケーション不足に至るといふ悪循環を解消するとともに、認知症予防にもなるのではと、昨年度、高齢者への

補聴器購入助成制度の実施を要望したが、その後の研究状況について伺う。

保育所開設に民有地取得を

問 待機児童数は微減したが、子どもの数は増えている。保育所開設のスピードを重視するのであれば、民有地の取得検討が必要なのではないか。

区長 事業者からの提案を着実に開設に結び付け、迅速に整備を進められると考える。民有地活用は必要性に応じ検討していく。



未来 上田 ゆき

保健師の増員等について

問 出生数や高齢者数の増加等により、今後、保健師の多忙化が懸念されることから、保健師活動の継続の方針と増員の検討について、伺う。

区長 母子保健システムの導入で事務の効率化等を図り、地域包括ケアシステムを構築する中で、役割や人員体制も検討していく。

「つがく科」の出張授業を

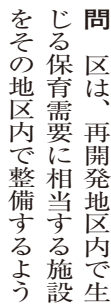
問 お茶の水女子大学附属小学校「つがく科」の出張授業や教員研修を取り入れては「つがく」は論理的で深い思考力を開発する国際バカロレアとも関連すると考える。教育長 区でも、教員研修を実施し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、取り組んでいる。「つがく科」

授業は今後、研究していく。

春日・後楽園駅前地区市街地再開発について

問 区は、再開発地区内で生じる保育需要に相当する施設をその地区内で整備するよう指導し、更なる子育て支援施設の誘致など、保育を積極的に活用した公的貢献を一層進めるべく再開発組合側に要請すべきと考えるが、いかがか。

区長 当該地区の保育需要については、再開発組合に認可保育所等の設置を要請している。また、組合において、子育て支援施設等の導入検討も進めており、区も引き続き求めていく。



未来 渡辺 雅史

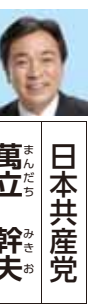
特別支援学級児童・生徒への通学支援について

問 特別支援学級児童・生徒への通学支援については、現状では不十分だと区民の声やそれらを担うヘルパー不足などの指摘もされている。区全体の課題でもあり、早急に対応をお願いしたいが、いかがか。

教育長 現在、区長部局において通学・通所支援利用回数を見直しを検討している。また社会福祉法人において、ヘルパーなどの人材確保に向け、研修等を継続している。

国政への対応について

問 核兵器禁止条約への政府の調印要請や沖繩・辺野古新基地建設中止を求める請願を区議会は採択し、政府に対して要望書を提出した。区としても意思を発信すべき、伺う。

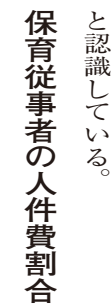


日本共産党 萬立 幹夫

生活保護利用について

問 生存権保障という法の理念に沿った制度運用を図るとともに、権利としての生活保護の徹底した周知を図るべきと考えるが、いかがか。

区長 国の方針に基づき、今後も適正な制度運用に努めるとともに、区ホームページ、「わたしの便利帳」などを通じ、周知を図っていく。



日本共産党 関川 けさ子

ブロック塀の改修費助成

問 未整備の細街路に面した古い塀の改修は、敷地のセトバックを伴うため、安全化が進まない。セトバックしなくても対象にすべきである。

区長 細街路拡幅整備事業は、道路幅員の確保により、災害に強いまちづくりを目指すものである。セトバックを行わない場合は、助成対象としていない。

B1ぐるの新規路線開設

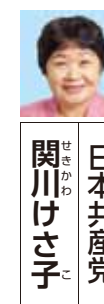
問 B1ぐるの課題等分析報告では、新路線開設で、本郷地区94%、湯島地区90%の交通不便地域がおおむね解消されるとあった。この地域に新路線の実現を強く求める。



基金の積立額について

問 29年度基金総額は過去最高の679億円であり、成澤区政11年間だけで約380億円の基金増となっている。区民一人当たりの積立額と、23区での位置を伺う。

区長 区民一人当たりの基金総額は30万5千円で、23区中、多い方から5番目となっている。

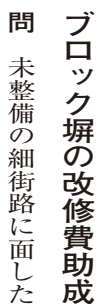


日本共産党 関川 けさ子

所有者不明土地問題における住民票除票について

の探索に有効な住民票の除票等、書類の保存期間について、総務省の研究会の中間報告では、保存期間を15年に延長することが適当であると公表された。本区においても、個人情報保護に十分配慮しつつも、法令改正の動きも踏まえて、延長保存を要望するが、現在の取扱状況と、今後、法令改正がされた際の保管等の見解を伺う。

区長 住民票の除票については19年1月のシステム入替以降、戸籍の附票の除票は4年4月のシステム導入以降の情報を保存している。今後、法令改正により保存年限が延長された場合、保存データの管理コスト増等の課題については、適切に対処していく。



公明党 若井 宣一

自転車駐車場にバイク駐車場の設置を

問 今後、シェアサイクル事業の拡充と一時利用制自転車駐車場の増設をする際は、道路整備保全公社の自動二輪車専用駐車場整備助成事業を使って、自転車駐車場の一部にバイク駐車場の設置を要望するが、見解を伺う。

区長 本助成事業は、民間事業者を対象としており、区は、事業者の駐車場整備促進のため、周知を図っていく。また、自転車シェアリング事業のサイクルポートや一時利用制自転車駐車場の拡充に合わせた自動二輪車専用駐車場の設置について、研究していく。



# 委員会活動

## 常任委員会

9月定例会議の議会期間のほか、7月26日に建設・文教委員会を、それぞれ開催しました。

### 総務区民

9月25日・26日 報告事項7件  
報告に対する主な意見等

●白山交流館外3交流館の指定管理者の評価結果については、それぞれの施設が適切に管理運営されていることが確認された。今後も引き続き、利用者懇談会やアンケート等を実施し、利用についての満足度やニーズの把握を行った上で、施設や事業の改善等に努めていくこと。

●文京区立アカデミー文京外6施設の指定管理者の評価結果については、シビックホールの高い稼働率や、文化芸術事業及び生涯学習事業等が適切に実施されていることが確認された。今後は、利用者からの要望が多いホール客席やトイレ等の改修についても検討を進めること。

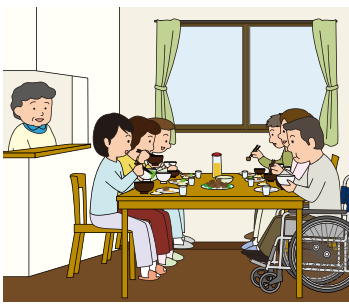


●森鷗外記念館の指定管理者の評価結果については、鷗外の作品や業績を広く伝えるための良質な企画展等の実施や、サービス向上のための適切な人員配置等が確認された。今

### 厚生

9月20日 報告事項3件  
報告に対する主な意見等

●動坂福祉会館跡地活用障害者グループホームの開設については、説明会に多数の参加申込みがあり、ニーズや関心の高さがうかがえる。本人や家族の将来の生活への不安解消のためにも、障害者(児)実態・意向調査の実施や、障害者団体との情報交換等での確認にニーズを把握し、公有地・民有地を問わず計画的にグループホームを誘致・確保していくこと。



●生活保護基準の改定については、通知等での周知のほか、ケースワーカーが被保護世帯の個々の状況に応じて改定内容や教育扶助等の制度周知を行うなど、丁寧に対応すること。  
●平成30年度地域密着型サービス事業実施予定者の公募については、昨年度実施したアンケート結果から、小規模多機能型居宅介護又は看護小規模多機能型居宅介護についての事業者募集を区内全域に広

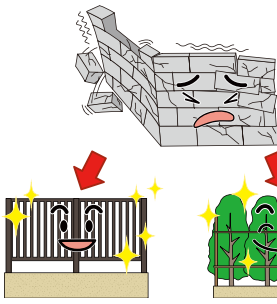
●は、審査の過程で出された主な意見・要望です。

### 建設

7月26日 報告事項1件  
9月21日 報告事項5件  
10月15日 報告に対する主な意見等

●「東京における都市計画道路の在り方に関する基本方針中間のまとめ」については、都において、個々の路線の検証や今後の進め方についての検討が行われているが、必要に応じて区民に情報を提供し、区内で該当する路線の関係者等に対し、丁寧な説明していくこと。

●ブロック塀等改修工事費助成等の拡充については、様々な広報媒体により、制度の周知に努めるとともに、所有者以外からの相談があった際には、必要に応じて現場を確認し、助成の対象となる場合は所有者に対して、既存の塀等の撤去や新しい塀等の設置を促していくこと。



●平成29年度ごみ収集量、資源回収量及びし尿収集量・処分量については、事業用大規模建築物における立入調査の際に、雑がみのリサイクル等により廃棄量を減らすなどの指導を強化することで、再利用率の上昇に努めていくこと。

### 文教

7月26日 報告事項3件  
9月19日 報告事項6件  
報告に対する主な意見等

●平成34年の児童相談所開設に向け、切れ目のない支援ができるように、先行して開設を進めている他区の情報も取り入れつつ、区にある様々な社会資源を活用した取組を今年度中に策定する基本計画に盛り込んでいくこと。

また、国、都の動向も踏まえ、さらに経験や増員も考慮した人員の確保を行っていくこと。  
●認可保育所等の開設については、待機児童対策を急ぐあまり、保育の質を落とさぬよう、指導検査、巡回指導をより充実させることはもとより、認可外保育園に対しても区として一定の関わりを持つような体制を検討すること。また、保育の質を担保するため、区立認可保育園において第三者評価の実施を検討すること。



## 議会運営委員会

7月18日、9月4日・13日・28日、10月15日に開催しました。

- 【主な協議事項】
- ・7月臨時議会について
- ・副議長選挙について
- ・9月及び11月定例会議の日程について

## 特別委員会

### 自治制度・行財政システム調査

9月11日 報告事項1件  
報告に対する主な意見等

●地方分権改革関連法の施行により、国から地方自治体への権限の移譲や規制緩和が図られる事務について、区の対応が検討された。

●30年6月に閣議決定された、第八次地方分権一括法では、行政手続における特定の個人を識別するための番号(マイナンバー)の利用範囲の拡大や、災害発生時に各地方自治

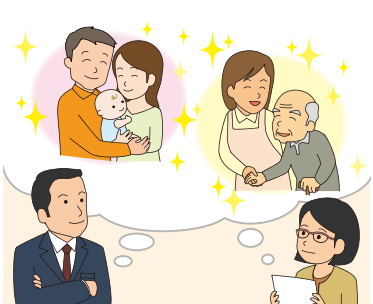
して一定の関わりを持つような体制を検討すること。また、保育の質を担保するため、区立認可保育園において第三者評価の実施を検討すること。

- ・議会運営委員会及び特別委員の辞任・選任について
- ・意見書について
- ・決算審査特別委員会について
- ・人権擁護委員候補者の推薦に係る議会の意見聴取について

### 災害対策調査

9月11日 報告事項2件

(1)研究会の開催  
「東京都の防災対策と地域連携」をテーマに、東京都総務局総合防災部防災管理調整担当課長の宮澤夏樹氏を講師に迎え、研究会を開催した。首都直下地震による被害想定を踏まえ、帰宅困難者対策や医療機能の確保、地域防災力向上のための様々な取組等について講義を受け、活発な質疑を行った。



(2)報告に対する主な意見等  
●平成30年7月豪雨への人的支援として現地に派遣した区職員からは、避難所の空調や受付の設置場所、備蓄物資の管理方法等に関する課題が報告された。これらの課題や得られた教訓について、避難所運営協議会と情報共有を図ること、今後の避難所運営の改善につなげること。  
●文京区地域防災計画における妊産婦、乳児の支援については、子育て応援メールマガジンを活用した防災・災害関

### 地域振興・まちづくり調査

9月12日 報告事項2件  
報告に対する主な意見等

●生産性向上特別措置法に基づく導入促進基本計画の策定について、この制度を利用した中小企業が支援措置を受けるとともに、先端設備等導入計画を作成し、区の認定を受ける必要がある。その作成に当たっては、区が作成方法等についての相談に丁寧に対応し、多くの中小企業が制度を利用できるように努めること。  
●東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の公式練習会場について、文京スポーツセンターがハンドボール競技の公式練習会場として使用されることとなった。この機会を生かし、区民と参加選手との交流の場を設けるなど、区民にとってオリンピックレガシーが残るような施策を実施していくこと。

また、会場として使用することによる利用制限期間等については、詳細が決まり次第、区民や利用団体等に対して速やかに情報の周知を行うこと。



### 地域包括ケアシステム調査

9月12日 報告事項1件

### (1)研究会の開催

「長寿時代の人生設計と社会創造(フレイル予防と100歳までの人生設計)」をテーマに、東京大学高齢社会総合研究機構教授の飯島勝矢氏を講師に迎え、研究会を開催した。フレイル予防を提唱した経緯と狙い、精緻なデータを積み上げた科学的根拠(エビデンス)を国民の心に届かせるための「ツボどころ」、高齢者同士で実施する、住民主体のフレイルチェック活動等について講義を受け、活発な質疑を行った。  
※フレイル 虚弱な状態を表す概念で、高齢者の介護が必要になる手前の段階。



### (2)報告に対する主な意見等

●認知症施策総合推進事業の取組状況については、認知症についての正しい知識や予防事業の周知・啓発を始め、発症後の各段階に応じた本人や介護者支援等の各種事業を、区民が利用しやすいように資料の配布場所等も工夫して積極的に制度周知を行うこと。また、医学の進歩と事業内容が適切に連動するように認知症施策を推進していくこと。

**委員会会議録 速報版をチェック!**  
文京区議会 速報版 検索  
会議録の「速報版」を、各委員会開催日から3週間程度で文京区議会ホームページに掲載しています。